

政務活動費活動報告（視察）

- (1) 出席者（会派名・個人名）
会派：夢みらい
赤井康彦、安藤博、八木嘉之、小川喜三郎、夏川嘉一郎
- (2) 実施日：2016年2月8日（月）10:00～11:30

【1. 調査の目的】

- (1) 岐阜市立中央図書館の概要、視察

【2. 調査地選定理由】

- (1) 調査項目
本彦根市、拠点図書館建設に関する参考資料を得るため
- (2) 選定地
岐阜市市役所－市立中央図書館

【3. 調査結果】

岐阜市概要：人口約42万人、面積203km²、商業観光都市（中核都市）

(1) 内容

■施設概要（平成27年7月開館）

- 敷地面積：14,725,39m²
- 建物高さ：16.09m
- 建築面積：7,363,84m²
- 建築様式：地上2階、地下1階
- 延床面積：15,295,04m²（鉄筋コンクリート、天井部は木製格子）

■施設の名称、コンセプト

- 名称：みんなの森. ぎふ. メディアコスモス
（知の拠点。文化の拠点。絆の拠点からなる複合施設）
- 理念：市民が集う「知」と「文化」創造の森

■建設事業費

- 用地、建物：約125億円（合併特例債56億、国39億、一般4億、基金出費26億）

■書籍

- 所蔵書籍：約90万冊（2階30万冊、1階と中2階60万冊）
- 座席数：約900席

■施設の特徴

①内部構成

広大な建屋内は10ケのグローブ（逆ロート型、室内屋根下、円形の多用途、読書スペース）と10ケの多目的ルームで構成。

②機能

- 室内オープン化、外光取り入れ（ガラス張り）、エアー流通大、地下水にて暖房、本棚は全て目線より低く設定。

- ・多目的ルームは各種団体、グループが自由使用（申込みによる）
- ・学生等の自習コーナーも設定。

③イメージ

お年寄りや子供、女性にやさしい快適空間創出。（寝て本を読める）

キャッチコピー ⇒ 「ひとりでフムフム、あなたとドキドキ、みんなでワイワイ」

■ Q & A

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| Q 1 都市外輪部（山村等）対策は | A 六ヶ所の分館で対応 |
| Q 2 電子図書導入は | A 今のところ、予定なし |
| Q 3 職員数は | A 約 60 人（内、正規 10 人、嘱託 50 人） |
| Q 4 事業委託はあるか | A 外部委託なし |
| Q 5 建設に関わっての市民に意見は | A パブリックコメントで受け入れ |
| Q 6 土地選定手法は | A 岐阜医大の跡地、譲り受け |
| Q 7 学校との連携は | A 貸出しあり、相談窓口あり |
| Q 8 最近の利用者動向は | A 親子連れ、中高生、若者の増加あり |

(2) 考察

上記した様に岐阜市立中央図書館の特徴は、そのスケールの大きさはさて置くとして、旧来型図書館の枠を超えての、未来指向型コンセプト（市民が集う「知」と「文化」創造の森）にあると云えよう。本彦根市も参考にすべき点、多々ありと考える。

平成 28 年 3 月

報告責任者：夏川嘉一郎

政務活動費活動報告（視察）

(1) 出席者（会派名・個人名）

会派：夢みらい

赤井康彦、安藤博、八木嘉之、小川喜三郎、夏川嘉一郎

(2) 実施日：2016年2月9日（火）10:00～11:30

【1. 調査の目的】

(1) 「上州沼田・真田丸展」の概要、視察

【2. 調査地選定理由】

(1) 調査項目

本彦根市、各種観光イベント策の参考に資するため

(2) 選定地

長野県上州沼田市下之町 大河ドラマ館「真田丸」イベント会場

【3. 調査結果】

(1) 内容

■推進組織

①主体となる組織体系

- ・大河ドラマ「真田丸」上田市推進協議会（期間 H26 年 8 月 29 日～29 年 3 月 31 日）
- ・構成 61 団体（官民連携）

上田市、上田市議会、長野県、商工団体、地域団体、観光団体、民間事業者ほか

※議員連盟の仕事は、主に全国に市議会に向けての PR（チラシ郵送ー特色ある視察メニューの紹介等）

■各種 PR 施策

①他機関利用の誘客手法

ドラマ館の管理・運営を委託している NHK プロモーションが旅行エージェント（近畿ツーリスト）にチケット販売業務（旅行商品化促進等）を再委託し、結果この手法により誘客効果がかかなり上がったとみている。

②市内外向け PR

- ・市内：広報紙に「幸村ものがたり」として大河ドラマ「真田丸」への取組み、イベント情報等を掲載。入館料割引（大人 600→480 円、子供 300→0 円）も。
- ・市外：周辺自治体、姉妹都市等への、入館特別割引を実施。また雑誌、新聞等へのドラマ館記事を掲載等。

③観光客向け PR

- ・「るるぶ」のフリーペーパーへドラマ館記事を掲載。
- ・上田駅周辺、高速道路、上田菅平 IC 周辺、中心商店街にのぼり旗を掲立。
- ・IT 技術の活用：「真田丸」上田市推進協議会のフェースブックやホームページ開設。

■各種イベント

- ・「真田丸」第一回放送、パブリックビューイング（H28年1月10日）
上田市文化芸術センター大ホールにて（参加者1,300人）イベント。
（参加者に赤備えの赤をドレスコードとし、会場を赤一色に染め上げた。）
- ・大河ドラマ館開館100日前イベント（H27年10月10日）
「真田丸」の出陣式。忍たま乱太郎ショー。
- ・「真田丸」スペシャルトークショー
平山優氏（「真田丸」時代考証）、小日向えり氏（歴史アイドル）

■その他

①教育

教育委員会で真田三代（幸隆・昌幸・信之・信繁）の歴史冊子（真田ものがたり）を作成し、小学生全員に配布。

②予算

- ・上田市が実施する事業（640,000千円）
- ・大河ドラマ「真田丸」上田市推進事業（協議会）（360,000千円）

(2) 考察

上州沼田真田丸展は、NHK大河ドラマや、自らが信じる「義」のため、巨大な敵に立ち向かう日本人好みのキャラクター（信繁）に大いに助けられている「感」はある。唯、NHK等の協力があるとは云え、市民会館丸ごと映像化・大河ドラマ化の手法、更には管内に大坂の陣「真田丸」を再現、観客を臨場感溢れる非現実世界へ誘う等、この種のイベントの向かうべき一つの方向を指し示した点では、一定の評価に値するものであると云えよう。本彦根市も、参考にすべき点多々ありではなかろうかと考える。

平成28年3月

報告責任者：夏川嘉一郎